



フォーラム 第34回月例研究会のご案内

『O』法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会

■ 日時 2013年1月24日(木) 13:30~16:30 (受付13:00から)

■ 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室

東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111 JR上野駅公園口出て正面すぐです。

■ テーマ「温泉療養の医学的研究の歴史的経緯と未来への課題」

講師 東 威 (日本温泉気候物理医学会名誉会員、温泉療法専門医)

■ 討議内容

近年、我が国で長い歴史を持つ温泉療法が危機的な状況に落ちいつています。温泉療法の国や大学の医学的な研究機関や、研究者が相次いで、閉鎖あるいは退官となり社会の中で温泉療養が忘れ去れようとしています。一方超高齢化社会を迎えている我が国で、近代医学だけに頼るのではなく、人間の尊厳と、人人の個別な、あるいは総合的な視点でQLを第一に考え、人に優しい伝統的な、経験に基づく、いわゆる統合医療が見直されています。平成24年度の月例研究会は様々なテーマで、温泉の社会化(サーマリズム)を討議してまいりました。その課題は温泉だけではなく、我々を取り巻く社会環境の現実を見直すこととなり、人々の生活と健康、あるいは生命やそのライフスタイルのありかたまで広く論議を進展させました。そして10月末の新潟県越後妻有での研究合宿、温泉里山アカデミーでは、温泉関係者の高度教育と温泉の知見の伝承システム(アカデミー)に関して、8時間に及ぶワークショップが開催されました。こうした一連の研究を通して、私たちが継続的な温泉医学や温泉療養に関する社会的基盤づくりと言う大きな課題が浮上し、温泉の個別の組織や研究の統合化、未来へ確固たる研究基盤と社会的認知事業の資金づくりなど具体的な構想も提言されました。このような大きなテーマを前に、今一度、温泉療養とはなにか、そしてその社会的、歴史的な系譜を戦後の社会の中で見つめ直し、その原点に立ち返ることが、未来への第一歩となると考え、平成25年度初頭の月例研究会には、ベルツ教授、眞鍋嘉一郎、三澤敬義、そして後の初代フォーラム会長の大島良雄、二代目会長齋藤幾久次郎と引き継がれた東京大学医学部内科物理療法学教室(物療内科)の系譜で、日本温泉気候物理学会で長くご活躍された東威先生に我が国の温泉療法の研究の歴史をご講演いただきます。振り返れば、明治以降、西洋医学の導入により、日本の伝統的温泉療法が臨床医学から忘れ去られようとした時期がありました。この危機を救ったのは、一部医学者の熱心な呼びかけでした。私達温泉人は人々に愛され、また人々に寄り添って寡黙に湧出する自然の恵を埋没させることはできないのです。



温泉療養の医学的研究の歴史的経緯と未来への課題」

東 威 (日本温泉気候物理医学会名誉会員、温泉療法専門医)

1300 受付

1330 コーディネーター・背景説明

1340 講演

1500 休憩

1515 ディスカッション

1630 終了

■ 参加費 健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員
2000円

一般の方

3000円

報道関係者・学生

無料

(当日会場受付で承ります)

■ お申し込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAXにてお申し込み下さい。定員先着順40名とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 第34回月例会(2013年1月24日(木))に出席します。

● お名前
(複数可)

● 団体名

● 住所

● TEL

● FAX

● E-mail